手づくり 夢を

明日のおもちゃを考える「第3回朝日創作おもちゃコンクール」（朝日新聞社主催、文部省など後援、株式会社タカラ協力）は、11月20日に最終審査会が開かれ、入選104作品が決まった。永井道雄朝日新聞客員論説委員が「いろいろな家庭で考えたことを、この新しい会場という、もう一つの家庭で話し合っている感じがする」と総評した通り、昨年の倍以上という2571点の応募作品は、どれも家族の笑顔を思わせた楽しいものばかり。審査員もうれしい悲鳴をあげていた。そんな和やかな「激戦」の中から入賞した人たちに、制作のヒントや、苦心した所、そして家族の協力ぶりなどを聞いてみた。

第三回朝日創作おもちゃコンクール

最優秀論文賞　おもちゃのもつ教育性

出江　千恵子さん(26)
山形県…町
主婦

〈要旨〉

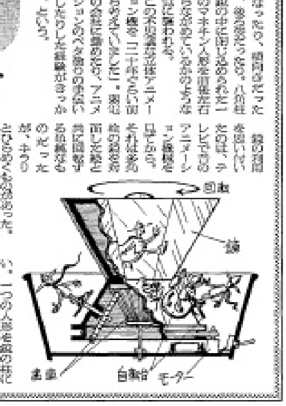
おもちゃは子供にとっては「遊び方」「学び方」、強化されると「考え方」…[illegible]

トイグランプリ　立体アニメーション機

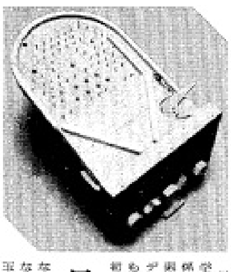
坂井　俊六さん(44)
鹿児島市小松原2丁目
会社員

20年間考え続けて

[illegible]



アイデアグランプリ　音あてパチンコ



榎　強志(つよし)さん(27)
鳥取県日野郡日野町福長
木彫り工芸家

目に頼らず発想逆転

[illegible]

タカラ賞　発泡スチロールの水中遊泳

久米　隆晴君(12)
大阪府堺市…町4丁目
小学6年

下調べは地道に

[illegible]

審査員特別団体賞　メカロボット軍団

宮城県泉市立長命ケ丘中学

授業の中から誕生

[illegible]

朝日新聞社賞　アフリカたんけん

曽　…子さん(10)
小学4年

動物大好き

[illegible]

その他の入賞者

[illegible]